コミュニティ・スクール設置へ

学校運営協議会制度の導入について説明を受けた。

【経緯】

学校ごとに学校運営に必要な支援に関して協議する機関として「学校運営協議会（コミュニティスクール）」を置くことが努力義務となっており、令和3年度からの一斉導入を目指すもの。

【趣旨】

本町・各地区の実態や課題に応じた学校運営協議会の設置により、社会に開かれた教育課程のより一層の推進を図る。

【概要】

委員は保護者、地域住民、学識経験者、教職員他から10人以内。

質疑

学校運営に関わるのか

委員 **教育に関することではなく、学校の運営に関するものと理解してよいか。**

当局 学校運営の基本方針について意見をいただくもので、運営に関することが中心。

委員 **例えば、空き教室を利用しながら地域も関わるということもあるのか。**

当局 空き教室を利用し放課後子ども教室を運営している先進的な事例もあり、連携しての活動も考えられる。

委員 **地域にどのように周知するのか。**

当局 地域の方々の理解があっての協議会。地域の方やコミセンの方に声がけして参加していただいたり、広報を活用しお知らせしたりしていきたい。

そのほか
- ○白鷹町地域防災計画の見直し
- ○白鷹町国土利用計画（案）について
- ○白鷹町振興実施計画（案）について
- ○山形鉄道株式会社経営改善計画の策定状況について
- ○白鷹町災害廃棄物処理計画（案）概要について
- ○白鷹町国民健康保険の現状と税率について
- ○白鷹町地域福祉計画の策定について

などについて説明があった。

総務厚生常任委員協議会　11月17日

災害発生時の強い味方となるか

防災情報配信設備（戸別受信機）整備事業について説明を受けた。

【事業の概要】

現在、災害発生時は、屋外スピーカーからの音声及び災害メールで情報伝達を行っている。しかし、音声については聞き取りにくい状況にある。住宅内に設置できる戸別受信機を導入し、スマートフォンなどで情報を収集する手段のない世帯に貸与することにより、迅速化かつ確実な情報伝達を行う。

【事業内容】

戸別受信機配信システムの整備

戸別受信機端末の配備　450台

【貸与対象者】

町内の単身高齢者世帯（868世帯のうち希望調査により貸与）

質疑

維持費は誰の負担か

委員 **設備工事の内容は。現在の屋外スピーカーも使用するのか。**

当局 配信整備やJアラートとの連携設備工事である。併用する。

委員 **アプリも町民に活用を勧めるのか。**

当局 戸別受信機と併せてアプリの導入について説明していく。

委員 **維持費はいくらか。誰が負担するのか。**

当局 通信費は月300円。町で負担していく予定。

委員 **家の中の工事費は個人負担が生じるのか。**

当局 工事は必要ないが、使い方の説明は必要になる。

委員 **予定している台数で足りなかったら、追加になるのか。**

当局 希望を取りながら慎重に進めたい。希望が多ければ、改めて追加を考えている。

そのほか
- ○区長の任期等の見直しについて
- ○東根小学校区の放課後児童クラブについて

などについて説明があった。